

かなくらさん こんぞうじ
金蔵山金蔵寺

通称「かなくらさん」と呼ばれ、人里離れた山中に建つ寺です。多可八景・多可十景・兵庫県観光百選などにも選ばれ、梅、桜、紅葉など四季折々の風物が楽しめ、庫裏の東縁からの眺望は絶景です。高野山真言宗の寺で、本尊は薬師如来です。

その昔、笠形山に6cmほどの黄金仏薬師如来が出現、熊野権現の導きにより金蔵山へ移られ、大木の上におられたのを、大峰山の役行者が御仏のお告げをうけ和銅年間に開山されました。行基菩薩が天平2年(730)登山されて、自ら等身大の仏像を刻まれ、黄金仏を胸に納めて本堂を建てられました。以来、金蔵山金蔵寺になったと伝わります。

奥の院には役行者尊、行基菩薩、慈覚大師の像が祀っています。境内には安政年間に再建された本堂、鐘楼をはじめ弁財天堂、こもり堂、権現堂、八角堂、庫裏、千年杉、かなくら四国88カ所など見所があります。約150年前に本堂に奉納された絵馬は少しも色あせずとても綺麗です。境内には護摩道場もあり、毎年春秋の彼岸には先達修験者が集まり、柴灯護摩供が行われます。

かのこじんじゃ
鹿子神社

春の山桜・秋の紅葉と四季折々に彩られる笠形山。その谷々からの清流に育まれた大屋の里に、「鹿子神社」は、その縁に包まれて鎮守として存在しています。

石積の玉垣に囲まれた神域には、大杉が林立し、厳肅な気分にさせてくれます。鳥居をくぐると、唐破風の庇付き長床の拝殿があり、内部に多くの「絵馬」飾られています。本殿は銅板葺の流れ造りで、屋根を支える二重折上の飾り組物の素晴らしい見応えを感じます。この組物は、象鼻の受木や彫刻が多くの受升を飾ります。境内の摂社も優美で重厚な雰囲気を醸し出しています。

一方、この神社の由来も素晴らしい！播磨国二宮「荒田神社」の分社として、秋の大祭に「御旅騎馬武者行列」が行われます。その所以は、延暦の昔ここより、坂上田村麻呂將軍が奉幣使と7人の供を従えて二宮に参拝した事によると伝えられています。

このように「歴史も風格もある神社」をぜひ訪れてみてください。

アクセス



- 北はりま田園空間博物館 総合案内所へは
・中国自動車道滝野・社インターからR175を北へ車で約20分
・JR加古川線「日本へそ公園駅」から徒歩約20分
- 真言宗 金蔵山金蔵寺(多可町加美区的場853)へは
・R175、野村東信号より西へ明楽寺町を経て北進21Km 車で約35分
・田園空間博物館より畠瀬橋信号西へR427を経て20Km 車で約30分

くわしくお知りになりたい方は

北はりま田園空間博物館発行「まるごとガイド」「北はりま魅力探訪紀行第1集」「でんくうガイドマップ」、または、ホームページをご覧下さい。

お問い合わせ

NPO法人 北はりま田園空間博物館*

北はりま
田園空間
博物館■

道の駅 北はりまエコミュージアム

〒677-0022 西脇市寺内517-1

T E L : 0795-25-2370 F A X : 0795-22-2123

U R L : <http://www.k-denku.com>

E-mail : jk@k-denku.com

・営業時間：9時～19時 (11月～2月は9時～18時)

・年末年始以外無休

ぶらぶら探検マップ

気軽に楽しめる半日コース No.3

金蔵山 金蔵寺周辺



金蔵寺土砂加持法会（寺院持回りで九年に一度）

NPO法人
北はりま田園空間博物館*

